



優しい風の 吹く街

第70号
2022年夏号

市民ネット宝塚



水岡俊一参議院議員と

私たちの思いは、国に届いているのでしょうか。ロシアのウクライナ武力侵攻などの不安定化している世界情勢により、日本でも食料品や燃料などの物価高が続いています。そのうえ上昇しない賃金や下げられた年金で、市民の生活に影響が出ています。また、家庭の経済格差が子どもの教育格差につながる事態も深刻です。

私は経済的な心配をせずに教育を受けられる環境を保障することが、政治の役割だと思います。

2022年6月議会 北野さと子 一般質問&答弁 ～抜粋～

1. ユニバーサルデザイン社会に向けて

●SDGsと本市の取組

<質問>

SDGsの「誰一人取り残さない」精神と、ユニバーサルデザイン社会のあり方の共通点をふまえた本市の取組は。

<市長答弁>

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された持続可能でよりよい世界をめざす開発目標である。

ユニバーサルデザインは、物理的な障壁のみ

ならず、社会的、制度的、心理的、すべての障壁に対処するという考え方である。バリアフリーとともに、誰もが安心して生活するための、みんなに優しいまちづくりの大切な考え方である。

第6次宝塚市総合計画において、めざすまちづくりの方向性を「すべての人の人権が尊重され、誰もがありのままに自分らしく生きられるまち」としている。



●インクルーシブ公園

<質問>

障がいがあってもなくても、みんなで一緒に遊べるよう工夫されている「インクルーシブ公園」を本市でも検討を。既存の遊具をユニバーサルデザインの「インクルーシブ遊具」に変えてみては。

<市長答弁>

市内の公園は、バリアフリーへの配慮やより安全が確保された遊具の更新などはおこなっているものの、障がいの有無に関わらずあらゆる子どもたちが一緒に安全に遊べる場所は、ほぼ無い状況。インクルーシブ公園や遊具の設置について、先進事例を参考にしながら調査研究していく。



インクルーシブ遊具・シーソー

●ギフテッド教育

<質問>

「探究心・好奇心が旺盛」「数学や文字に強い興味を持つ」「科学、芸術分野に高い関心がある」ギフテッドとは、そのような高い知的能力を持ち聡明な一面がある一方、一律の集団指導に馴染めなかったり、コミュニケーションが苦手であったりと、理解とフォローの必要な繊細な子どもたちである。文部科学省において現在、有識者会議による議論がおこなわれている。

本市においても、ギフテッドの子どもたちへの認知を深め、より良いギフテッド教育の在り方を研究していくことを求める。

<教育長答弁>

本市においても国が掲げる「すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をめざし、特異な才能を

有する児童生徒が学習活動に困難が生じている場合に、教材や指導方法の工夫をおこなっていく。

2. 新型コロナウイルス感染症後遺症

<質問>

新型コロナウイルス感染の症状の有無に関わらず、回復後にも後遺症として様々な症状が見られ、ロングコビット (Long COVID) といわれている。本市の実態把握は。

<市長答弁>

国や県から患者情報が公表されておらず市民の実態については把握できていない。今後の検討課題である。

<質問>

後遺症治療の実績はあるのか。

<病院事業管理者答弁>

市立病院では後遺症を専門とする診療はおこなっていないが、病状に合わせた診療科で治療にあたっている。治療法が確立されることを期待するとともに患者にはできうる限りの対応に努めていく。

<質問>

コロナ後遺症に関する相談は、症状や受診などの医療的な相談以外にも、失業や生活困窮などといった生活全般の相談など、多岐にわたる。県や宝塚保健所、地域の病院などと連携をとり、然るべき対応へとつないでほしい。

<健康福祉部長答弁>

後遺症で苦しむだけでなく、周囲の理解がない、経済的な理由などの問題が複雑に絡んでいる。福祉分野で解決していくべきこともあるので、適切な機関につなげながらも寄り添った対応をしていきたい。

3. 教員免許更新制の廃止

●どのように周知していくのか

<質問>

教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案が国会で可決・成立し、2022年7月1日より「教員免許更新制」廃止が決定した。ただし、6月30日までに更新期限を迎える方は、更新または期限延長の手続きをおこなわないと免許失効となる。どのように周知と確認をするのか。

<教育長答弁>

各学校園長あてに通知し、免許状が失効することがないように、産休や育休、療休の教員も含め、個別に免許更新を促してきている。

<質問>

本市においても、免許更新制度が産休育休代替教員等確保の妨げとなってきた実態に鑑みて、人材確保や意識高揚のために、工夫した広報を求める。

<管理部長答弁>

指摘のとおり、教員不足は本市でも問題と捉えており、特に、臨時講師などの不足は深刻な状況。免許更新制廃止は、免許状が休眠状態となっている方や教員を辞められたような方が、再度教員として活躍しやすくなる。募集のホームページにそのようなアピールする内容を掲載する。



4. 教職員の働き方改革

●勤務時間の適正化と業務量の軽減によりワーク・ライフ・バランスの実現を

<質問>

働き方改革に向けた具体的取組は。また特に、文部科学省が2023年から本格的に始めるとしている「休日部活動の外部への移行」について本市ではどのように進めているのか。

<市長答弁>

勤務の適正化を図るため記録簿の活用に関しての協議をおこなったほか、スクール・サポート・スタッフ活用の効果検証などをおこなった。さらに宝塚市いきいき部活動のあり方検討委員会において部活動の外部移行の検討を進める。

<質問>

部活動の外部移行について、市には人材発掘や人材確保につながるように広報や広聴力を発揮することを期待するが、何か対応を検討しているのか。

<市民交流部長答弁>

「OPEN！ みんなで話そう！ やまさき市長とともに」において、現在「部活動改革」をテーマの一つとすることを検討しており、市民の皆様と、人材発掘や人材確保の方策も含めて、広く意見交換していきたいと考えている。

●労働安全衛生法に基づき働きやすい職場環境の確立を

<質問>

教職員のストレスチェックの結果から、しんどい原因は何かを探り、その対処法、さらに業務量の改善に手を尽くしているのか。

<教育長答弁>

高ストレス判定者に医師による面接指導の機会を提供するとともに、上司や同僚、家族などからの支援度や身体的負担、心理的不安の多少等について学校ごとに分析しフィードバックを行っている。

●記録簿の活用

<質問>

記録簿を正確に書くことができないのは、忙しすぎてそれを書くことさえ負担になっているのではないか。書きやすい環境整備、書いた仕事内容の正しい評価と、適正なりカバリーなどが求められる。見解は。

<管理部長答弁>

記録簿の活用が勤務時間の適正化につながり、それが自身のためになるということを教員が認識できるよう、周知徹底を図りたい。教員のリフレッシュが可能となるよう、割振り制度を活用しやすい組織風土の醸成などに努めていく。



兵庫県民主教育政治連盟



連合全国一斉労働相談ホットライン開設



▲6月7日 逆瀬川駅にて

▲5月21日 三木市文化会館にて
兵庫県内の教職員出身議員仲間です！

北野さと子の意見

働きがいのある魅力ある仕事へ

勤務時間は正確には「週38時間45分」だが、現場では休憩さえ取れていない状況である。給食指導や清掃指導などがありお昼休みも取れない。そんな「教員働かせ放題」を合法化してきたのが「給特法」で、4%加算がされたのは1971年。「当時1カ月の超過勤務が8時間」だったことを根拠としたものなのである。

2021年11月の全国調査では、持ち帰り仕事も含めた1カ月の平均残業時間は小学校では月95時間30分、中学校では月121時間56分過労死ラインをとっくに超えている。まさに「残業代なしの」「定額働かせ放題」と言える。

全国の教員5000人が休職！

子どもたちにも大きな影響が出ている。労務管理をきちんと行い、業務量を減らすための業務内容を見直し、教員の仕事を「ブラックな仕事、魅力のない仕事」から「働きがいのある魅力ある仕事」へと変えていかない限り、教育の未来はない。

風のフクロ

宝塚市内の小学校5年生への平田オリザさん監修「演劇的ワークショップ」を見学した。劇団員の指導で子どもたちの自己表現活動が進んでいく様子を見て、それぞれの個性が活かされていることに感心した。友だちとのふれあいはよいものだ。